

夕歩道



令和5年 冬
其の四四

川の指導者講習会

川活動を楽しく安全にするために

- 日時：令和5年6月24、25日 9：30～17：00
※ボート講習は、6月29日にも実施
- 場所：コカ・コーラ環境ハウス、ショウドウツバメ営巣地对岸、長沼頭首工下流左岸～馬追橋上流右岸

川は楽しいけれど、危険もいっぱいです。保津川、空知川でも痛ましい事故がありました。楽しく川活動するため、しっかり川の基本を学ぶことが大切です。夕張川の指導者講習会は、平成22年にRAC（川に学ぶ体験活動協議会）講習のフォローアップを目的に始まり、平成24年から毎年実施されています。スタッフの高齢化が進む中、次世代の指導者育成を図るためにもますます大切な活動になりそうです。



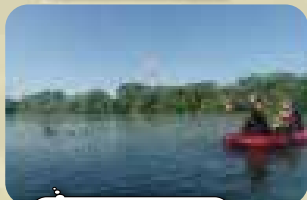
川の機能を学ぶ座学



生物調査



川歩き、川流れ



ボートを使った救助訓練

1日目講義：

川の仕組みと川の機能、改修河川と自然河川の違い、川活動の進め方、魚類の生態と川環境魚類調査の注意点、指導者の心得

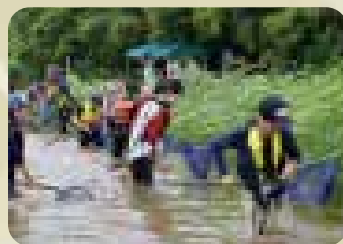
2日目講義：

河川利用の様態、安全確保と注意義務、川の自由使用原則と届け出、ボートの特徴と操船、レスキューロープによる救助、事故未然に防ぐ準備等

江別の子供たちが石狩川で川遊び ~水辺の自然塾（江別市主催）

- 日時：令和5年7月25日（火） ●場所：石狩川（新石狩大橋上流右岸）

恒例の水辺の自然塾が開催され、約40名の子ども達が石狩川で川遊びをしました。途中、大雨になったりしましたが、元気に石狩川の真ん中を川流れしたり、タモ網で魚を取ったり、浮き輪で遊んだりしました。



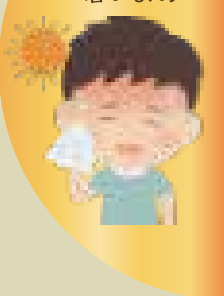
北海道の川は夏でも水温が低いことが多いです。低体温症（ハイポサミア）は、体の温度が下がることにより、内臓や脳などの機能が働かなくなる症状で、体の震え、ろれつが回らない、目がうつろ、寄声を出さず、歩行困難、筋肉硬直といった状態になります。一方、暑さで起きる熱けいれん、熱射病等の障害を熱中症といい、めまい、立ち眩み、こむら返りといった軽度なものが、倦怠感、失神、嘔吐、意識障害、けいれんといった重症になります。

川遊び入門

熱中症と低体温症

暑いよお

寒いよお、



対策

川の活動時には、十分注意しましょう！

- ①体調のチェック（参加者の動き、表情を見る、参加者へ声掛け＝特に子供、高齢者）
- ②水温、気温チェック（天気概況の確認、水温の計測）
- ③休憩、水分や栄養補給（適度な休憩と水分補給、無理なプログラムは避ける）
- ④万全な服装、熱中症対策→帽子、化繊素材の服（透湿性、保温性、耐水性に優れた服）低体温症対策→長袖、長ズボン、化繊素材の服、毛布等の用意

ハサンベツ里山づくり～流路、河岸の整正、床止め補修等

「ハサンベツ里山」には、新たに交流施設が整備され、10月頃イベント予定!

- 日時：令和5年6月11日(日)9:30～、6月17日(土)9:30～
- 場所：ハサンベツ川(夕張川支川)

ハサンベツ里山づくり床止め(ウエッジダム)補修、流路の整正を行いました。床止めは、倒木を杭で止めただけの簡易なもので、土砂を貯めこみ河床を安定させる機能があります。今回の作業には北海道介護福祉学校の生徒がボランティアで参加、作業をしながら、水の流れ道を活かした川づくりを学んだようです。



どうもありがとう

介護福祉学校のボランティアさん



倒木を利用した床止め作業



崩落河岸の石組み作業



床止めの石組み作業

第45回

夕張川流域会議

- 日時：令和5年12月6日(水)13:30～
- 場所：南幌町ふるさと物産館「ビューロー」

前回第44回流域会議での「安全に川遊びできる場所を増やしたい」「自然の川が作る環境が活動場所になる」等の意見を受けて、ショウドウツバメ営巣地対岸や清幌床止めの河道掘削が始まり、その状況報告がありました。委員から掘削後のモニタリングを継続しその結果を上流の掘削予定地にも反映して欲しいとの意見があり、来年度は現地を見学したいとの提案がありました。この他、河川敷の新たな利用法の提案、川のゴミ問題の啓発強化と車止めの設置、クマ出没対策として河畔林の伐採、栗沢頭首工下流の中州利用、夕張川の将来を考える行政と市民の共催シンポジウム等についても意見交換がありました。



養老孟司先生と栗山町の里山で遊ぼう

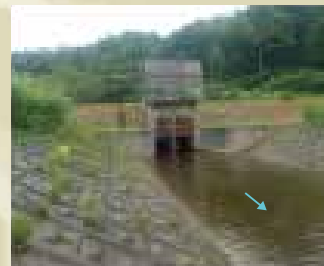
- 日時：令和5年10月21日
- 場所：夕張川支川ハサンベツ川

解剖学者で作家の養老孟司先生を迎えて、ハサンベツ里山で自然体験するイベントが行われました。2日間に渡り、小学生から大人まで約100名が、里山を歩き、キノコ採りをしたり、植物、虫等の生き物に触れる体験をしました。養老先生からは、地球規模で環境が悪化し、生き物がどんどん減少している話があり、自然に触れる機会を増やして都会の生活から田舎の生活に変えること、子ども達は特に外で遊ぶことが大切というご指摘がありました。



川と生活 ～樋門の働き

川の堤防には、樋門(写真参照)という施設があります。普段は門を開けて、家、田畑の水を川へ流します。(上図)雨が降り川の水位が上がると、門を閉めて川からの逆流を防ぐ働きがあります。(下図)夕張川にもいくつか樋門があり、水害から私たちの生活を守っています。樋門には、大小様々の大きさがあります。川へ行ったら樋門を見てみてください。



樋門：門開放中



平常時



増水時

門閉鎖、逆流防止

図：国土交通省東北地方整備局資料より抜粋

発行：夕張川流域会議事務局

江別河川事務所：〒067-0074 江別市高砂町5 電話 011-382-2358
夕張川ダム総合管理事務所：〒068-0546 夕張市南部青葉町 573 電話 0123-55-5151



夕歩道バックナンバーは、ホームページをご覧ください。「夕張川流域会議」で検索